



JA大阪市
ISSN 1342-3002

あたらしい繁栄の芽を皆様と



MOE

JA大阪市広報誌 時
2026
spring
vol. **359**

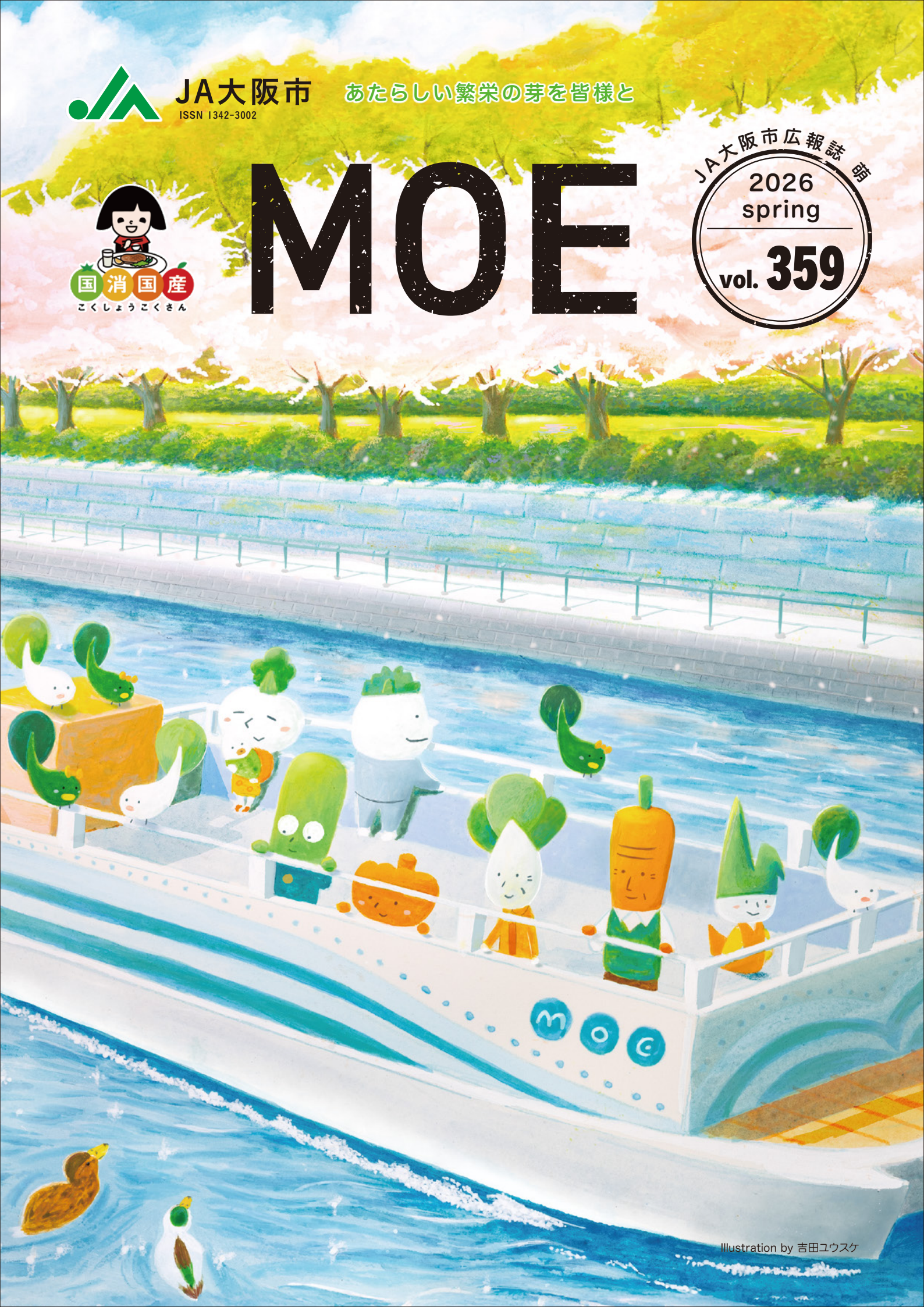


Illustration by 吉田ユウスケ

〈 CONTENTS 〉

- 2 おいで〜菜情報
- 3 トピックス
『大阪市農業フェア』開催
- 4 萌ニュース
- 8 フォトクリップ
- 11 お知らせ
- 12 親子で農業体験参加者募集

春号の表紙



Illustration by 吉田ユウスケ

場所取り不要でゆったりと
お花見クルーズを楽しむ
JA大阪市キャラクター
「なにわ野菜ファミリー」



地下鉄谷町線「平野」駅⑥番出口すぐ

平野店

大阪市平野区平野西5-2-2 TEL.06-6702-7739

【営業日時】月〜土曜日（日・祝休み）9:30〜15:00



JA大阪市各支店を巡回！！

移動販売



【販売時間】10:00〜12:00

移動販売実施日程

各支店、曜日と何週目かを固定

	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
第1	旧加美支店	箕支店	加美支店	
第2	旧瓜破支店	東淀川支店	東住吉支店	茨田支店
第3	住之江支店		長吉支店	住吉支店
第4		東淀川支店		

※月によって実施しない支店があります。
また、月によって実施日程が変更になる場合も
ありますので、ご了承ください。



「移動販売年間
スケジュール」は
ホームページで
チェック！



直売所・移動販売 ポイントカード

直売所・移動販売で
の購入で、ポイントを貯
めて使えます。直売所・
移動販売で配布します。



JAカード

直売所「おいで〜菜」
でのお買物の際にJA
カードでお支払いいた
だくと5%割引に。ご質
問・ご契約は各支店へ。



Instagram

インスタグラム 配信しています

直売所の情報など
をタイムリーに配信し
ています。

市民と農業者の交流の場

令和7年度『大阪市農業フェア』開催

生産者と地域住民による 年に1度の「収穫祭」

昨年11月15日（土）、令和7年度『大
阪市農業フェア』が、東住吉区の長居
公園自由広場で開催されました。大阪
市農業フェア開催委員会（構成団体：
JA大阪市）が主催し、大阪市が後援
するイベントで、「都市農業に対する
市民の理解を深め、都市と農業の共存
を図ること」が目的。開催には、JA共
済連の地域・農業活性化積立金を活用
しています。

フェアを盛り上げた 女性会会員の活躍

皆さんお目当ての、直売所おいで〜
菜の出張販売、なにわの伝統野菜や河
内レンコン・花きなど、JA組合員（生
産者）やJA職員による新鮮な農作物
の販売はもちろん、お祭り気分を盛り
上げたのは、JA大阪市女性会の皆さ

長が、「秋の収穫の喜びを地域の方々
と祝う場として、また市内の新鮮な農
作物に親しんでいたただける交流の場
として、本イベントを盛り上げていき
たい」と挨拶しました。

模擬店では、定番の屋台メニューの
他、焼きイモや玉こんにゃくの煮物な
どに腕を振るい、バザーでは、このイ
ベントに向けて各支部の女性会会員
が作った手芸品が並べられました。バ
ザーの収益金は、次代を担う子どもた
ちのために地域の社会福祉事業団へ
寄付されます。また、河内おとこ節や
炭坑節の音頭に合わせて、各支部の法
被を纏った女性会会員や支店職員が
ステージ前で輪になって踊り、来場者
の飛び入り参加もあるなど、会場の一
体感を楽しんでいました。

農作物品評会を同時開催 一部は住吉大社に奉納

同時開催の農作物品
評会には298点の出
品があり、大阪市長賞・
住吉大社賞5点を含む
計26点の入賞品が選出
されました（8ページに
掲載）。今年の収穫に感
謝の心をこめて、出品さ
れた市内産野菜の一部を住吉大社に
奉納するセレモニーも行われます。

入賞者発表後には、出品された野菜
や花きの即売会を実施。販売開始前か
ら多くの方が並び、人が人を呼んで一
般の公園利用者たちも列に加わり、
あつというまに長蛇の列に。開始後わ
ずか30分で完売するほどの盛況ぶり
でした。



中学生のキャリア教育
直売所で職場体験

旬の野菜をよりお客様にPRできるように、職員に教わりながらダイコンの陳列をする生徒達。

「年金友の会」会員の親睦を
琵琶湖日帰り旅行

琵琶湖ホテルにて挨拶をする北野吉治会長。「年金友の会」は、JA大阪市で年金を受給・受給予定の方の会員組織です。

昨年11月27日(木)・28日(金)の2日間、直売所「おいで〜菜」平野店にて、大阪市立加美南中学校2年生の生徒4名が職場体験を行いました。同校では「一人一人が希望する進路を選択できる能力を培う」を学校教育目標とし、キャリア教育を積極的に推進しています。今年度は、大阪市内外にある図書館やドラッグストア・自動車整備工場など28か所の様々な業種へ生徒たちが訪問し、職場体験学習を行いました。

生徒達は、店頭での陳列作業やバックヤードでの野菜の袋詰め作業などを体験。袋詰めは、野菜の向きや傷をつけないように注意しながらの作業です。陳列作業は、お客様により魅力的に見えるよう、スタッフから教わりながら行いました。

市内小中学校の給食へ
伝統野菜を出荷

収穫した野菜を丁寧に洗う生産者達。早朝からの作業は大変ですが、子ども達の顔を思い浮かべると、作業もはかどります。



完成品の写真を参考に、思い思いに作成する参加者達。各人の個性が随所にみられる唯一無二の作品となりました。

フラワーアレンジメント体験会
「スワッグ」づくり

昨年12月19日(金)、本店2階ホールにてフラワーアレンジメント体験会を開催し、12名が参加しました。本店では地域貢献活動として文化教室を開講しており、その新しい試みです。

大阪市内にわの伝統野菜生産者協議会は、「大阪市内にわの伝統野菜」普及活動の一環として、2010年から毎年、大阪市内の小中学校給食へ大阪市内にわの伝統野菜を提供しています。

昨年12月15日(月)に「田辺大根」の出荷作業を行い、16日と22日の2日に分け合計1055本を住吉区・東住吉区へ納品。1月7日(水)には「金時人参」の出荷作業を行い、翌8日に約470kgを東淀川区・北区・西成区へ納品しました。収穫作業は朝から行われ、採れたての新鮮な野菜を、流水で一本一本丁寧に洗って出荷しました。



今回は、平野区で『花工房K・Z(ケイズ)』を主宰する小西恵氏を講師に、魔除けや幸福を呼ぶ北欧の伝統的なクリスマス飾り『スワッグ』づくりに挑戦しました。ヒノキやユーカリの葉などのグリーンと生花を麻糸でブーケのように束ね、クリスマスオーナメントなどで飾って完成です。

JA大阪市内から4名が特選入賞
第73回大阪府花き園芸品評会

農林水産大臣賞を受賞した金田博充さん。表彰式は、2月20日に(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所で行われました。

昨年12月20日(土)・21日(日)、大阪市長居公園の花と緑と自然の情報ゼミ

ンターにて、大阪府花き園芸連合会主催の『第73回大阪府花き園芸品評会』が開催されました。大阪府内の花き生産者から毎年約140点が出品されます。

今年度は、農林水産大臣賞を受賞した金田博充さんをはじめ、大阪市花き生産組合の組合員から4名11点が特選に選出されました。

金田さんの農林水産大臣賞受賞は今回で3度目となります。発表後には、「本品評会が大阪府花き園芸連合会と共に70年以上続いていること、その重みを受け止め、それを支え続けてくれ

特選入賞者

JA大阪市組合員抜粋(敬称略)

越智正和／住吉支店

大阪府農業会議会長賞
(ハボタンフェザー丸葉)

優良賞(アリッサムアルール)

樹富加津／住吉支店

大阪府農業協同組合中央会長賞
(ストックミックス)

辻川穂高／住吉支店

全国農業協同組合連合会
大阪府本部会長賞(アリッサム)

大阪生花商業協同組合理事長賞
(ビオラオセロット)

優秀賞(ビオラオデイル)

優秀賞(ビオラ平塚弘子作品集)

優良賞(ビオラフロステッドチョコレート)

金田博充／住吉支店

農林水産大臣賞(パンジー)

大阪府立花の文化園長賞

(八重咲パンジーファビュラス)

優秀賞(サクラソウ)



農林水産大臣賞を受賞したパンジー。

弁当作りでクリスマスを満喫
ベジッ子 Bento-o-冬

材料を洗って切るところから、子ども達で調理。女性会会員は、道具の使い方や調理の仕方を指導しながら見守ります。

＊――＊

た偉大な先達の皆さんに改めて感謝申し上げたい」と話していました。受賞作品のパンジーについては、「株の締めまり具合、色の配色など、作品として全体のバランスも考えながら母と協力して選別しました。パンジーは園芸初心者からベテランまで楽しめる品種なので、皆さんにも是非チャレンジして欲しいです」とのことでした。

年3回シリーズで実施しています。

今回は、小学生と保護者の6組15名が参加し、西川昇子会長をはじめ、女性会役員7名が調理をサポートしました。今回の献立は「サントさんのおにぎり」や「トナカイハンバーグ」などの6品です。プロッコリーをクリスマスツリーに見立てて飾り、カニカマやチーズ・ウインナーなどを使って、サントさんやトナカイさんに仕立てます。思い思いに詰め込んでデコレーションしたお弁当は、子ども達の個性が光る、カラフルでクリスマス感満載の作品に仕上がりました。



完成したお弁当を試食した後は、女性会役員が作った毛糸のクリスマスツリーをデコレーション。各々好きな色のツリーにオーナメントやビーズを飾りつけ、親子と楽しい時間を過ごしました。



1月7日(水)、大阪市浪速区の今宮戎神社(大米戎講)の福娘11名が、弥栄(いやさか)を祈念してJA大阪市異支店を訪れました。このイベントは、異地区の福娘招致協力者がJA大阪市の各事業の発展と異支店の繁栄、地域社会とのつながりの強化を願って福娘を招致したことから始まり、今年で13回目となります。



福娘たちと記念撮影をする発起人と田中組合長

今宮戎神社の福娘が異支店で弥栄祈念

を披露。紅白の垂れ幕が飾られた会場で、新年を祝うおめでたい芸能が場を盛り上げました。

午前11時30分すぎ、いよいよ福娘たちの来店です。お揃いの中振袖に金の烏帽子と千早(ちはや・白羽織)の装いで、会場を華やかにした福娘たち。新年のご挨拶の後、「えびすさんの福」である干支の額や俵などの縁起物を、招致した発起人・異地区役員や田中聡代表理事組合長・JA大阪府役職員・異支店支店長、来店者たちへ授与しました。参加者たちが見守る中、福娘たちは明るい笑顔とともに「うーちましょ」と上方締めを披露して同支店の繁栄を祈願した後、来店者たちと記念撮影を行いました。



学生によるイタリア野菜レシピアイデア発表会

大阪市内産イタリア野菜の普及・宣伝活動を産学連携で！



参加した学生と市橋俊明氏(写真中央)、大学とJA関係者。

市橋シェフが平野区で営む「イタリア食堂 ちえるきお」にて、レシピの一部をアレンジして提供する予定です。



1月14日(水)、産学連携先の四天王寺大学・四天王寺短期大学部と共同で『イタリア野菜レシピアイデア発表会』を同大キャンパス内で開催しました。発表会に向けて、昨年11月には市橋俊明シェフによるイタリア野菜料理の実演・試食会を実施。12月には大阪市内のイタリア野菜圃場を見学するなど、学生たちはイタリア野菜についての理解を深め、レシピ作成に挑みました。



ビーツのあざとクレープ

生地にも生クリームにもビーツをふんだんに使用。鮮やかな赤色の生地と、通常の生地を組み合わせ、より華やかに飾りました。



恋するポテトサラダ

ビーツと一緒に漬すことで、普段のポテサラにアクセント。ビーツを茹でる際に酢を加えることで、特有の土臭さを消す一工夫も。

イタリア野菜 お好み
チョイスのトルティーヤ

フェネルを使った緑のジェノベーゼソース、ビーツを加えたピンクのタルタルソース、様々な調理法のイタリア野菜や肉、チーズ等をトルティーヤで包んでお好みで。

野菜嫌いも驚き！
サラダパウンドケーキ

ケールなど7種類の野菜を使いイタリアのフリッタータのように具沢山。チーズやソーセージも入っていて、野菜嫌いの子どもでも美味しくいただけます。

※料理名は考案した学生のものでそのまま掲載しています。

大阪市なにわの伝統野菜生産者協議会が協力 田辺大根の収穫イベントにTV取材が



田辺大根は、青首大根と比べて末端が丸く太い短筒型なのが特徴。この時期のものは1本2kg以上の大きさになります。

1月18日(日)、大阪市主催の収穫体験イベント『なにわの伝統野菜を収穫しよう』が開催されました。イベントには「大阪市なにわの伝統野菜生産者協議会」が協力し、同協議会副会長の田中莊滋さんの圃場(東住吉区)にて、

大阪市なにわの伝統野菜「田辺大根」を収穫しました。今回は、募集人数を大幅に上回る238組733人の応募があり、抽選で13組34人が参加。田辺大根は各組3本まで持ち帰り可能なため、参加者達はどうが良いかを相談して選び、大きく育った田辺大根の収穫に苦労をしながらも、皆さん満足気な笑顔を浮かべていました。

この様子は「JCOMチャンネル」に取材を受け、「ジモトピックス」で1月末から1週間、放送されました。



第60回大阪市民表彰

昨年12月12日(金)に発表された「第60回大阪市民表彰」において、当JAの組合員が受賞されました。

※許可をいただいた方のみ紹介(敬称略)

社会公益功労を受賞した日下さんは、平成12年から25年の間大和川右岸水防事務組合瓜破水防分団にて地域の防災活動に従事され、瓜破水防分団の分団長を経て、令和8年1月より大



日下 恒春 (平野区)

社会公益功労

国際親善や水防事業の推進など地域社会のために尽力された方

和川右岸水防団本部の副団長を務めていらつしやいます。



各支部で迎春用松竹梅や寄せ植えを作成

毎年12月に、技術部会・女性会の各支部で、迎春用の松竹梅や花の寄せ植え作りを行っています。
また、各支店の花壇も、組合員と支店職員が協力して葉牡丹を植え込むなど、迎春の装いに整えています。

女性会 平野支部



女性会 長吉支部



女性会 異支部



技術部会 東淀川支部



女性会 東淀川支部



女性会 茨田支部



女性会 住之江支部



女性会 東住吉支部



女性会 加美支部



女性会 住吉支部



各支店の花壇で迎春の植え替え



茨田支店



令和7年度 大阪市農産物品評会

昨年11月15日(土)に、大阪市農業フェア会場内で「大阪市農産物品評会」を開催。表彰式が、後日2月27日(金)にJA大阪市本店ホールにて行われました。
※同日2月27日には、「第33回立毛品評会」表彰式も開催され、入賞者は広報誌「萌」358号に掲載しています。

入賞者発表

(敬称略)



大阪市長賞
・住吉大社賞
(大阪市長賞副賞)



住吉支店管内
越智正和(パンジー)



東淀川支店管内
外山久(コマツナ)



平野支店管内
種谷秀三(ダイコン)



住吉支店管内
松本隆(ブロッコリー)



東淀川支店管内
村上圭子(小カブ)



大阪府知事賞
種田茂(ミズナ)

大阪府農業会議会長賞
西野勝博(シユンギク)

大阪府農業協同組合
中央会会長賞
西川幸一(サツマイモ)

大阪府花き園芸
連合会会長賞
辻川穂高(アリッサム)

なにわの伝統野菜優秀賞
濱田孝(大阪クロナ)



大阪市経済戦略局長賞
灰野悦次(サトイモ)

池田隆(白ネギ)

藤本泰一郎(天王寺無)

寺本一義(小カブ)

上田秀樹(キャベツ)

大阪府農業協同組合組合長賞
瀧田義治(ハクサイ)

末久貴生(青ネギ)

西野真二(ミカン)

芝嗣雅弘(ジャガイモ)

松本隆(青ネギ)

上田秀樹(カリフラワー)

おいしく食べて美しく 栄養士 ●吉田理江 食べ物で春バテ対策

季節の変わり目は、頭痛、胃もたれ、倦怠感など体調を崩しやすい時期です。特に春は、寒暖差が大きい時期で、異動や転勤など、生活環境や人間関係にも変化が起こりやすいため、心や体に不調を感じる人が多いといわれています。

春バテ対策には自律神経を整えることが大切です。今回は、おいしく食べて春バテ対策ができる、お薦めの食品を二つご紹介します。



■ かんきつ「不知火」(デコポン)

自律神経を整えるためには、腸内環境を整えることが必須です。幸せホルモンと呼ばれ、自律神経のバランスを整えるために必要なセロトニンは9割が腸で作られるからです。腸内環境を整えるためには、おなかの調子を整える働きがある食物繊維が豊富に含まれている食品を取ると良いでしょう。

特にお薦めなのが今が旬のかんきつ「不知火」(デコポン)です。また、「不知火」にはメラニンの生成を抑える働きがあるビタミンCが豊富に含まれています。メラニンが過剰に生成されると、しみ、そばかすの原因になるので美しい肌を保ちたい方にもお薦めです。食後や間食に

「不知火」を食べると良いでしょう。

■ チーズ

自律神経を整えるためには、セロトニンを増やす食品を取るのも大切です。セロトニンの合成に不可欠なトリプトファンを含む食品を取ると良いでしょう。

忙しい朝でも手軽に取れるチーズには、トリプトファンが豊富に含まれています。そのまま食べるのも良いですが、野菜炒めや具だくさんのスープに入れると、食物繊維も一緒に取れるため、さらに自律神経を整える効果が期待できます。

春バテに負けないために、3食ともバランスの良い食事を取ることも重要です。

春の映画会「花まんま」

第133回直木賞を受賞した小説「花まんま」を映画化。不思議な記憶を巡る、兄と妹の物語。出演：鈴木亮平、有村架純

開催日時 2026年 4月19日(日)
1部/10:00開場(10:30開演)
2部/13:00開場(13:30開演)

料金 各回200名
定員 前売550円、当日660円



(上映時間:118分)

第231回 ひらの寄席

個性豊かな5人の落語会!

開催日時 2026年 5月14日(木)
13:30開演(13:00開場)

定員 300名
料金 1,100円



桂 福留
桂 九ノ一
桂 春若
桂 佐ん吉
団四郎 改め
三代目露の五郎

(出演順)

《主催・開催場所》公益財団法人 平野区画整理記念会館 大阪市東住吉区中野2-7-16
TEL.06-6702-0513 FAX.06-6702-0519

申込方法 会館窓口・チケットぴあ



JA大阪市「地域と歩もう 未来に向けて 次代につなごう 協同の力」

本店 ☎06-6793-8701 茨田支店 ☎06-6912-1000
巽支店 ☎06-6758-0521 東淀川支店 ☎06-6328-4567
加美支店 ☎06-6791-0546 本店資産管理相談課
平野支店 ☎06-6702-0852 (組合員相談センター)
東住吉支店 ☎06-6701-7500 ☎06-6791-3901
住吉支店 ☎06-6691-0293 営農促進センター
住之江支店 ☎06-6681-4174 ☎06-6700-6111
長吉支店 ☎06-6709-2255 直売所おいで〜菜平野店 ☎06-6702-7739

(令和8年1月末現在)

◆組合員数 正組合員 955名 准組合員 19,054名 ◆職員数 224名
◆貯金残高 3,027億3,400万円
◆貸出金残高 804億4,838万円
◆長期共済保有高 5,469億2,347万円
◆年金共済保有高 94億1,377万円
◆購買品供給高 1億4,451万円

JA大阪市 ホームページアドレス
<https://www.ja-osakashi.or.jp/>



本誌は、府内及び全国の一部JA(系統含む)、府内及び全国の主要図書館、関係団体、JA大阪市店頭において配布。また、JAグループ内で実施される広報誌コンクールへの応募も行っています。

JA大阪市 組織活動

組織活動には、「技術部会」など農家を中心とした組織の他「女性会」「年金友の会」などがあり、多くの組合員さんが様々な立場で活動しています。



親子で農業体験年2回シリーズ

参加者募集中

JA大阪市食農教育応援事業

《募集締切》

2026年 必着
5月29日(金)

第1回

田植え・じゃがいも掘り体験

開催日時
2026年
6月27日(土)
10:00~12:00

荒天候予備日:7月4日(土)

☆収穫したじゃがいもをお持ち帰り

09:45 営農促進センター集合
10:00 開会・あいさつ
10:15 じゃがいも掘り体験
10:45 田植え体験
12:00 解散



第2回

稲刈り・さつまいも掘り体験

開催日時
2026年
10月31日(土)
10:00~12:00

荒天候予備日:11月7日(土)

☆収穫したさつまいもとお米1kgをお持ち帰り

09:45 営農促進センター集合
10:00 開会・あいさつ
10:15 さつまいも掘り体験
10:45 稲刈り体験
精米ライン・米定温倉庫見学
12:00 解散



募集要項

■ 対象／大阪市在住の小学生とその保護者
(第1回・第2回どちらも参加可能な方)

※小学生のお子様と一緒に、未就学のお子様も参加できます。
但し、未就学のお子様のみの申込は不可。1家族4名まで。

■ 参加費用／お1人様1回 1,000円(当日お預かり)

※未就学のお子様は無料。保護者と一緒に体験してください。

■ 定員／40名(応募多数の場合は抽選)

※当選発表は、開催案内の発送をもって行います。
落選した方への連絡はございませんのでご了承ください。



応募方法

ハガキまたはFAXにて、必要事項を記載の上で応募ください。

JA大阪市のHPのお知らせ欄からでも応募いただけます。

FAX. 06-6794-4495

《送付先》JA大阪市 本店 総務課

〒547-0111 大阪市平野区加美鞍作2-2-1

《必要事項》①郵便番号 ②住所 ③電話番号 ④代表者氏名

⑤参加者全員の「氏名(ふりがな)・年齢・性別」



開催場所

JA大阪市営農促進センター

大阪市平野区瓜破東6-3-64



《最寄り駅》

地下鉄谷町線「喜連瓜破」駅・「出戸」駅より
徒歩15~20分

※1家族につき、1台までお車でのご来場も可能です。

お問い合わせ

JA大阪市 本店 総務課 TEL.06-6793-8701(代表)